



木曽林務課だより 9月

台風の声とともにキノコの話が聞こえるようになってきました。キノコ狩り等で山へと考えられている皆さんに気にかけていただきたいお知らせです。

キノコ狩り等で山に入る際は、クマにご注意ください!!

これからの時期は、冬眠に向けてクマは、食いだめをするためにドングリ類などの食べ物を探して、森を含めて大きなエリアを動き廻ります。

クマがいると思って行動を。

山中はクマの生息地で、特に「明け方」と「夕方」のクマの活動が活発な時間帯になります。山に入る際は、鈴、ラジオ等の出る物を携帯して、音を出しながら行動しましょう。また、クマの足跡や糞などを見つけたら、それ以上近づかずに注意しながら引き返しましょう。

キノコ採りの場合、視線が地面に向いて視野が狭く、人の動きも小さくなってクマ鈴などが鳴らないことがあり、クマに気付かず遭遇する可能性が高くなります。キノコに夢中になりすぎず、周囲に十分気をつけましょう。

子グマを見かけたら、そのままそっと立ち去りましょう（親子クマに注意）

親子グマの目撃がありますが、母クマが子グマを連れている場合、母グマは、子グマを守るために人に向かってくることがあります。子グマを見かけたら、そのままそっと立ち去りましょう。絶対に近づかないでください。クマの痕跡をみつけたら、注意して引き返しましょう。

クマを近づけないよう行動しましょう。

クマが人の食べ物を覚えると、集落に近づいてくる原因になります。弁当の食べ残しやジュースの空き缶などをかならず家に持ち帰りましょう。

犬は連れて行かないで

人の気配を感じたクマは、身を隠して人をやり過ごそうとします。しかし、犬が一緒の場合には、犬に吠えられるなどして、人へ攻撃をする場合があります。犬を連れて山中へ入るのはやめましょう。

**クマに出会わないことが一番の対策です。
特にバッタリ遭遇が最も危険です。
まずはクマに人の存在を知らせながら行動しましょう。**

